食品殺菌から調理器具の洗浄・除菌。
衛生管理に役立つ水を生成します。

電解水生成装置
ROX
series

電解水生成装置
強酸性電解水専用タイプ
WOX
series

電解水生成装置ROX・WOXシリーズは、食品殺菌や調理器具などの洗浄・除菌に役立つ電解水を安定供給し、食中毒防止のために厚生労働省が普及を進めている『大量調理施設衛生管理マニュアル』の実施に貢献します。より安全な食の提供を実現するために、ぜひ電解水をお役立てください。

■ 大量調理施設衛生管理マニュアル

集団給食施設等における食中毒を予防するために、HACCPの概念に基づき、平成9年3月に厚生省（現：厚生労働省）により作成された調理工程における重要管理事項を示したものです。

■ 一般衛生管理プログラムあってのHACCPです。

HACCP

HACCPとはHA（Hazard Analysis 危害分析）とCCP（Critical Control Points 重要管理点）の略です。従来の最終段階における抜き取りチェックではなく、原材料が生産・飼育され、製造・加工、保管、流通を経て消費者に渡るまでの危害因子を分析し、重要管理点と管理方法を決めて管理・記録していきます。例えば、加熱調理時の中心温度と時間の管理もそのひとつ。基礎となる一般衛生管理プログラムが確立されていれば、極めて有用な手法です。（HACCPは、それぞれのお客さまによって変わるシステムです。全体的基準ではありません。）

SSOP
（一般衛生管理プログラム）

衛生的に食品を製造・加工するのに適した施設・設備構造となっているか、それらは正しく機能し、衛生的に保たれているか、作業スタッフの衛生管理は充分か、そのためのトレーニングは適切かつ継続的におこなわれているか、などがSSOPにあたります。このHACCP実施の前提条件すなわち一般衛生管理プログラムの部分がしっかりしていればCCPとして管理する項目は絞られ、より管理の度合いを集中することができます。

食品への汚染を防ぐため 作業中の調理器具除菌が重要。

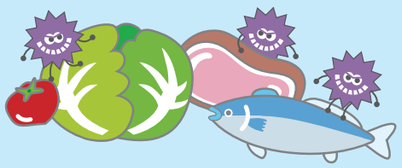
電解水生成装置を使えば、毎日の衛生管理の方法は大きく変わります。
調理器具の洗浄・除菌や食品殺菌が、水洗いの感覚でとても手軽におこなえます。
電解水は食品を汚染する細菌に対して高い殺菌効果を発揮し、一次汚染・二次汚染両方の防止に活躍します。
汚染経路を正しく理解し、電解水生成装置を使った効率的な衛生管理をご提案します。

電解水生成装置
ROX-10WB3

「2つの食品汚染経路を断つこと」が重要なポイントです。

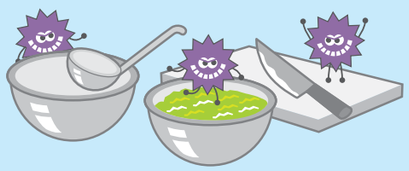
一次汚染（食品入荷時）

食品の産地など自然環境からの直接的な汚染。
広義では食品入荷時の汚染のことをいいます。



二次汚染（調理器具など）

調理器具や作業台、作業者の手指などを介して
起こる間接的な汚染のことをいいます。



食品への細菌による汚染防止に電解水が活躍します。

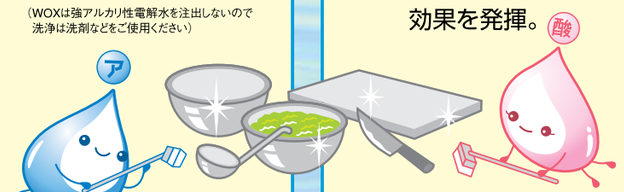
食品殺菌

強酸性電解水で
食品を殺菌。

一次汚染を防ぐ

洗浄

強アルカリ性電解水で
汚れを洗浄。
（WOXは強アルカリ性電解水を注出しないので
洗浄は洗剤などをご使用ください）



二次汚染を防ぐ

除菌

強酸性電解水は
ほとんどの食中毒に
効果を発揮。

今までの衛生管理の方法を もう一度、見直してみませんか？

**「大量調理施設衛生管理マニュアル」を
しっかり実施したい…**

**時間のかかる
衛生管理は面倒**

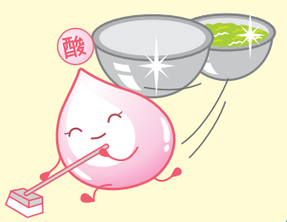
電解水で衛生管理が変わります。

安全性UP

残留性が低く、
塩素臭も残りにくい。

作業性UP

希釈の手間なし。
スムーズな作業をサポート。



経済性UP

1Lあたり、わずか0.5～0.6円/L。
大量使用が可能。

水道水 ＋ 食塩 ＋ 電気
＝ 1L≒0.5～0.6円※

※水道料金 366円／m³［東京の上下水道料金］、塩代 5kg 490円［（財）塩事業センター］、電気料金 単相100V 24円／kWh、水温 20℃、NaCl 0.1%の時

電解水の効果は？

生成される2種類の電解水は、それぞれ別の効果を持っています。
2種類の電解水を性質に合わせて使い分けたり、組み合わせたりして使えば、
食品殺菌や調理器具の洗浄・除菌など、作業の効率化に優れた力を発揮します。
（WOXは、強酸性電解水のみを注出します）

step 1
強アルカリ性電解水は、水洗いだけでは落ちにくい、ぬめりや汚れなどを洗い流します。

step 2
強酸性電解水は残った菌をキレイに洗い流します。

ボクは、洗浄が得意。
除菌の前の汚れ落としに効果的だよ。

洗浄効果のある 強アルカリ性電解水

※WOXは強アルカリ性電解水の注出をしません。

強アルカリ性電解水は成分中に微量の水酸化ナトリウム（NaOH）を含んでいるので、タンパク質の溶解や油脂を乳化させる力を持っています。また、強酸性電解水で除菌した後、中和する際にも役立ちます。

■タンパク質・油脂を溶解・乳化。

強アルカリ性電解水は水では落ちにくいタンパク質や油脂などの有機物を溶解・乳化し、洗い流します。

強アルカリ性電解水と水道水の油脂乳化比較

強アルカリ性電解水と水道水、各10mLにラー油1mLを滴下しました。水道水では分離しますが、強アルカリ性電解水では直ちに乳化が起こります。※実際には、写真の乳化状態と異なる場合があります。

強アルカリ性電解水	水道水
乳化する	分離する
油汚れを洗い流すことができる。	油汚れがはじかれ流れない。

ワタシは、調理器具の
除菌が得意。
洗浄の後はワタシの出番よ。

除菌効果のある 強酸性電解水

強酸性電解水中の次亜塩素酸（HClO）は、同濃度で次亜塩素酸ナトリウム（NaClO）の約80倍※の殺菌速度があるとされています。

※『浄水の技術』1985 技報堂出版

■次亜塩素酸ナトリウムより殺菌作用が強い。

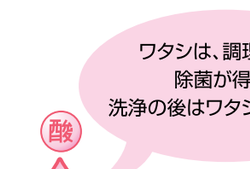
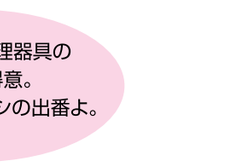
強酸性電解水に多く含まれる※次亜塩素酸（HClO）と次亜塩素酸ナトリウム内に多く含まれる次亜塩素酸イオン（ClO^-）は、同じ有効塩素ではありますが、殺菌力に大差があり、次亜塩素酸の方が強力な殺菌力を発揮します。

※『次亜塩素酸ナトリウム取扱指針』1981 日本水道協会

■残留性が低いので安心。

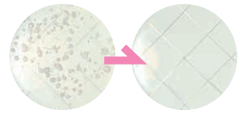
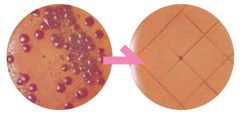
強酸性電解水と次亜塩素酸ナトリウムの残留性比較（社内試験）

カットリンゴ（約600g）を次亜塩素酸ナトリウム（pH9.3　有効塩素濃度200mg/kg）と強酸性電解水（pH2.6　有効塩素濃度30mg/kg）で殺菌した後、約15秒間水洗いをし、クロール試験紙（10～50mg/kg）で塩素の残留をチェックしました。

強酸性電解水	次亜塩素酸ナトリウム
変色しない	青に変色する
	
ほとんど塩素残留なし	塩素残留あり

■二次汚染防止に威力を発揮。

フードスタンプによる社内試験結果

一般細菌	大腸菌群
	
処理前　処理後	処理前　処理後

ROXの強酸性電解水でマナ板表面を約30秒間洗浄しました。一般細菌と大腸菌群のコロニーが減少することがおわかりいただけます。

■殺菌効果試験

菌　種	初発菌数（個/g）	処理時間 0.5分	1分	2分	5分
細菌A（グラム陰性通性嫌気性桿菌）	7.1×10^6	<300	<300	<300	<300
細菌B（グラム陽性通性嫌気性球菌）	5.4×10^6	<300	<300	<300	<300
細菌C（グラム陰性通性嫌気性桿菌）	3.3×10^6	<300	<300	<300	<300
細菌D（グラム陰性好気性桿菌）	7.0×10^6	<300	<300	<300	<300
細菌E（グラム陽性好気性桿菌）	5.3×10^6	<300	<300	<300	<300
酵母A（発酵性酵母）	7.3×10^5	<300	<300	<300	<300
酵母B（偏性好気性酵母）	5.3×10^5	<300	<300	<300	<300
カビA	5.8×10^4	1.7×10^3	<300	<300	<300

強酸性電解水の殺菌効果試験（島根県立工業技術センター）

ウイルスA　（エンベロープなし）	5秒以下で陰性

防菌防徴　Vol.36, No.6, 359-364, 2007

ウイルスB　（エンベロープあり）	10秒以下で陰性

（独）農業・食品産業技術総合研究機構

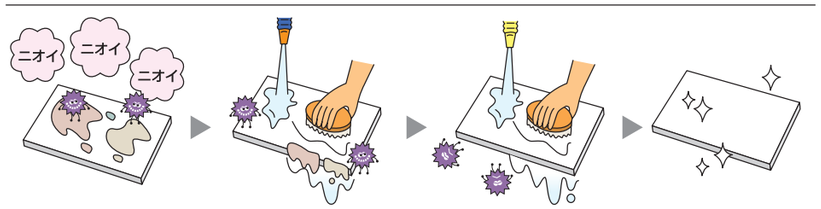
消臭効果を発揮 強アルカリ性電解水 & 強酸性電解水

※WOXは強アルカリ性電解水の注出をしません

ふたり、力を合わせて
ニオイを
シャットアウト。

ニオイの原因は菌の増殖とタンパク質・油脂などの変質です。強アルカリ性電解水で洗浄して強酸性電解水で除菌すると、ニオイのもととなる菌の除去やニオイの成分を酸化させることで揮発量を抑えることができると考えられています。

■ニオイをもとから解決



1 ニオイのもとは汚れと菌
2 強アルカリ性電解水で汚れを洗浄
※WOXは洗剤などで洗浄。
3 強酸性電解水で除菌
4 消臭完了

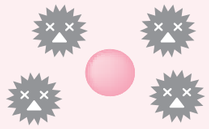
今までの殺菌方法との違いは？

酸性電解水と次亜塩素酸ナトリウム（希釈タイプ）での殺菌作業比較。

酸性電解水 VS 次亜塩素酸ナトリウム（希釈タイプ）

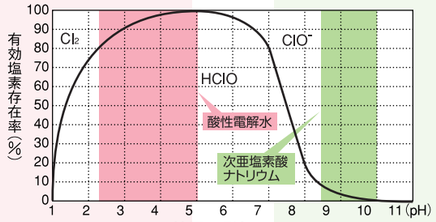
作業性アップ　酸性電解水は、次亜塩素酸ナトリウムより塩素濃度が低くても、同等の殺菌効果を発揮。

●主成分は
次亜塩素酸(HClO)の分子型



低濃度で
短い処理時間でOK

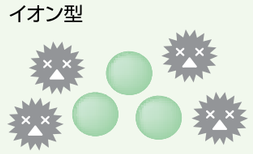
■水中塩素の平衡図



同じ効果を発揮するには

20～60mg/kg	有効塩素濃度	100～200mg/kg
10～60秒	処理時間（目安）	5～10分

●主成分は
次亜塩素酸イオン(ClO⁻)で
イオン型



高濃度で
長い処理時間が必要

早い　酸性電解水は、短時間での処理が可能。

処理時間
約10～60秒

殺菌スピードが速いので、短時間で処理ができ、作業が素早くおこなえます。

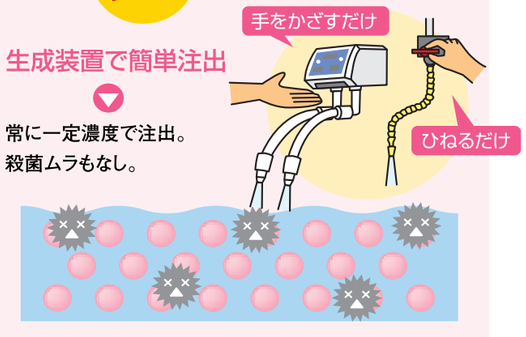
処理時間
約5～10分

殺菌スピードが遅いので、長時間の浸漬が必要です。

簡単　酸性電解水は、希釈の手間ナシ、カンタン注出。

生成装置で簡単注出

常に一定濃度で注出。
殺菌ムラもなし。



希釈の手間がかかる。

濃度にムラができやすい。
均一な殺菌効果が得られにくい。

酸性電解水 VS 次亜塩素酸ナトリウム（希釈タイプ）

安全性アップ　酸性電解水は、残留性が低く、ニオイが残りにくい。

残留性が低いため、食品に塩素臭がほとんど残りません。おいしさを守りながら殺菌することができます。

残留しやすいため殺菌した食品に塩素臭が残りやすい。

安全性アップ　酸性電解水は、副生成物が発生しにくい。

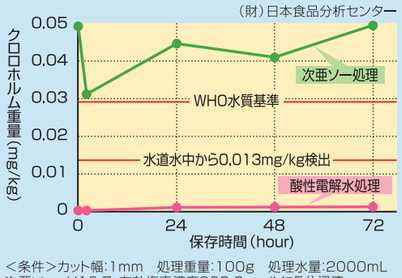
酸性で有効塩素濃度が低く、処理時間も短いため、有機塩素化合物などの副生成物が発生しにくい。

アルカリ性で有効塩素濃度が高く、処理時間も長いため、有機塩素化合物などの副生成物が発生しやすい。

殺菌力と手軽さを兼ね備えた酸性電解水。

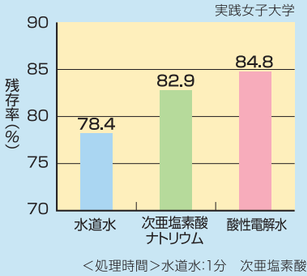
その他の酸性電解水と次亜塩素酸ナトリウムの違い

■カットキャベツ中のトリハロメタン量
（財）日本食品分析センター

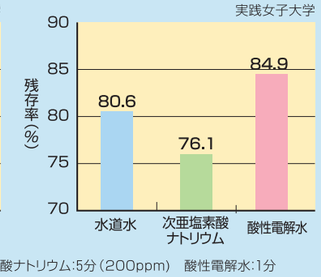


<条件>カット幅:1mm　処理重量:100g　処理水量:2000mL
次亜ソー:pH10.7、有効塩素濃度208.0mg/Lに5分浸漬
酸性電解水:pH2.6、有効塩素濃度30.4mg/Lに30秒撹拌浸漬

■ビタミンCの残存率
実践女子大学



■βカロテンの残存率
実践女子大学



<処理時間>水道水:1分　次亜塩素酸ナトリウム:5分（200ppm）　酸性電解水:1分

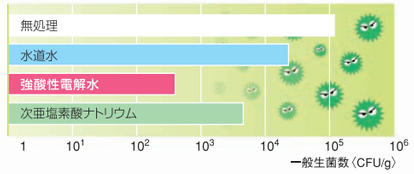
強酸性電解水を使った食品殺菌

一次汚染対策

野菜の殺菌

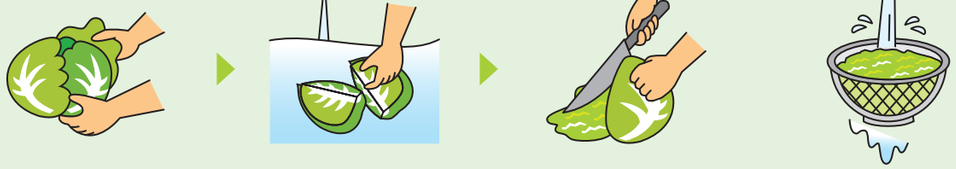
サラダなどに使用する生野菜や皮付きのフルーツなどは
加熱はせず生で食するため、特に注意が必要です。
しっかりと殺菌しましょう。

キャベツ

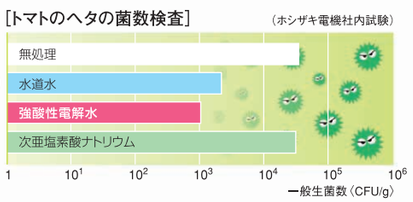


[処理方法]
水道水　5分 浸漬撹拌
強酸性電解水　1分 浸漬撹拌 → すすぎ 10秒
次亜塩素酸ナトリウム　5分 浸漬 → すすぎ 10秒

1 外葉を取り、4等分にし、芯を取る。
2 強酸性電解水の中で洗浄する。
3 スライサーや包丁で切る。
4 水道水で十分にすすぐ。

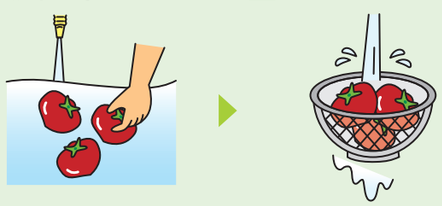


トマト



[処理方法]
水道水　10秒 浸漬撹拌+こすり洗い
強酸性電解水　10秒 浸漬撹拌+こすり洗い → すすぎ 10秒
次亜塩素酸ナトリウム　5分 浸漬 → すすぎ 10秒

1 強酸性電解水の中で洗浄する。
2 水道水で十分にすすぐ。



食品殺菌試験について

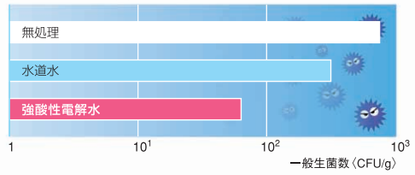
調理工程において定められた方法で十分に加熱すれば食中毒事故は発生しにくいという前提に立ち、生で食する、または提供する食品を中心に試験をおこないました。試験対象の液体は、右記のものを使用しています。

試験対象の液体	pH（℃）	有効塩素濃度（mg/kg）
水道水（豊明市）	7.0～7.5（10～12）	0.2～0.4
強酸性電解水	2.5～2.7（10～12）	20～30
次亜塩素酸ナトリウム	9.5～10.2（10～15）	190～210

魚・たまごの殺菌

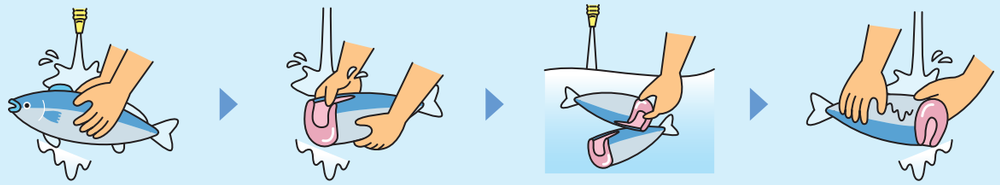
魚や食肉は入荷時の形態によってその後の洗浄工程が異なります。
そのため、しっかりとした検収、加熱や洗浄による殺菌など、
トータルな食中毒予防対策が求められます。

魚



[処理方法]
水道水　10秒 浸漬撹拌
強酸性電解水　10秒 浸漬撹拌 → すすぎ 10秒

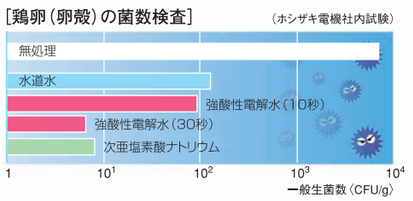
1 強酸性電解水で表面のぬめりを取る。
2 頭と内臓を取り、水道水で洗い流す。
3 強酸性電解水の中で洗浄する。
4 水道水で十分にすすぐ。



食肉については、ブロック肉の表面殺菌に効果的です。

※野菜・食肉・魚介類等の表面殺菌には効果的ですが、内部は殺菌できません。
※ブロック肉やスライス肉、魚の切り身等は殺菌により表面の変色等、品質上の問題が生じる場合があります。
※加熱調理する食品は適した温度と時間で加熱することにより殺菌できます。※殺菌後は水気を取り、定められた温度で低温保管してください。

たまご



[処理方法]
水道水　10秒 浸漬撹拌
強酸性電解水　10秒/30秒 浸漬撹拌 → すすぎ 10秒
次亜塩素酸ナトリウム　5分 浸漬 → すすぎ 10秒

1 強酸性電解水の中で洗浄する。
2 水道水で十分にすすぐ。
3 菌の繁殖を防ぐため、水気を取り、冷蔵保存する。

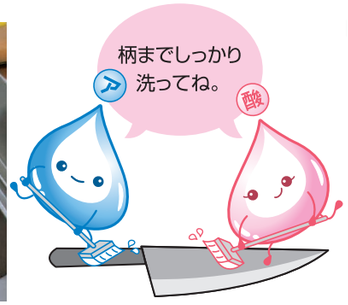
強アルカリ性電解水と強酸性電解水を使った洗浄・除菌

二次汚染対策

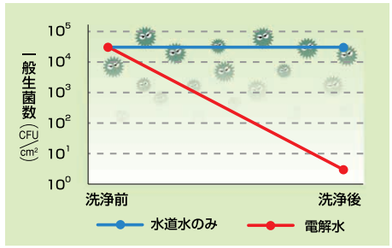
器具の洗浄・除菌

調理器具は調理の際に食材や調理者からの菌に汚染され、
加工した食品を再び汚染することがあります。
この「二次汚染」を防ぐためには、作業中でもこまめに除菌することが必要です。

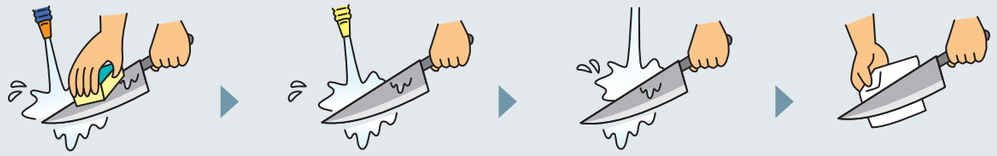
包丁



［包丁の処理による菌数の変化］（ホシザキ電機社内試験）



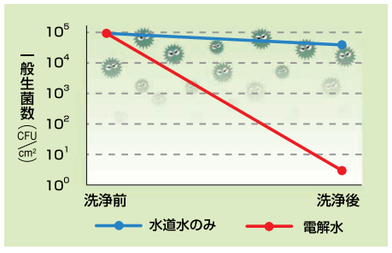
1 スポンジタワシを使い **強アルカリ性電解水**で柄までこすり洗いする。
2 **強酸性電解水**ですすぐ。
3 流水で十分にすすぐ。
4 水気をふきとる。



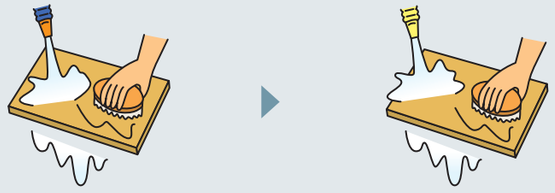
※包丁の錆が気になる方は、ご使用にならないでください。
※WOXは洗剤などで洗浄。

マナ板

［マナ板の処理による菌数の変化］（ホシザキ電機社内試験）



1 タワシを使い、包丁の切り目等にそって **強アルカリ性電解水**でよくこすり洗いする。
2 タワシを使い **強酸性電解水**でこすり洗いする。



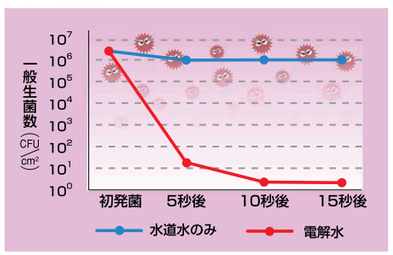
※汚れがひどい場合は洗剤等で前洗浄をしっかりおこなってください。
※WOXは洗剤などで洗浄。

フキンの洗浄・除菌

いろいろなものを拭くフキンは多量の菌を保有しやすく、
まさに「付菌」ともいえます。
普段から徹底的に除菌をおこない、衛生的に保ちましょう。

フキン

［フキンの処理］（流水もみ洗いによる菌数変化）（ホシザキ電機社内試験）



1 **強アルカリ性電解水**を流しながら、もみ洗いする。
2 フキンを固く絞る。
3 **強酸性電解水**を流しながら、もみ洗いする。
4 フキンを固く絞る。
5 乾燥後、保管する。

※定期的な漂白作業をおすすめします。
※WOXは洗剤などで洗浄してください。

床・排水溝の洗浄・除菌

床には落下菌や外部からの侵入菌が多数生息しています。
定期的な除菌により、確実な衛生管理をおこなってください。

床洗浄

※WOXは強酸性電解水のみを生成するため、床洗浄に使用しないでください。

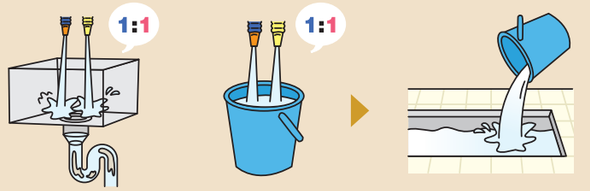
1 粗ゴミを掃き集めてから **強アルカリ性電解水**をまきながら、デッキブラシでこすり洗いする。
2 **強アルカリ性電解水**と **強酸性電解水**を1:1に混合した水で洗う。
3 十分な流水ですすぎ、ワイパーで水を切る。金属部についた水気をとる。

※床洗浄中は機器類にカバーをかぶせるなどし、水がかからないようにしてください。

シンクのトラップ・排水溝

※WOXは強酸性電解水のみを生成するため、シンクのトラップ・排水溝の洗浄に使用しないでください。

強アルカリ性電解水と**強酸性電解水**を1:1に混合した水で洗い流し、水道水でよくすすぐ。



※シンクトラップは樹脂製のものに取り替えてください。
※金属部分は錆びる場合がありますので使用した後は、しばらく水道水で洗い流してください。

施設に合わせたシステムづくり

施設の規模や用途に合わせて幅広く対応。大量調理施設向けのシステムも提案いたします。

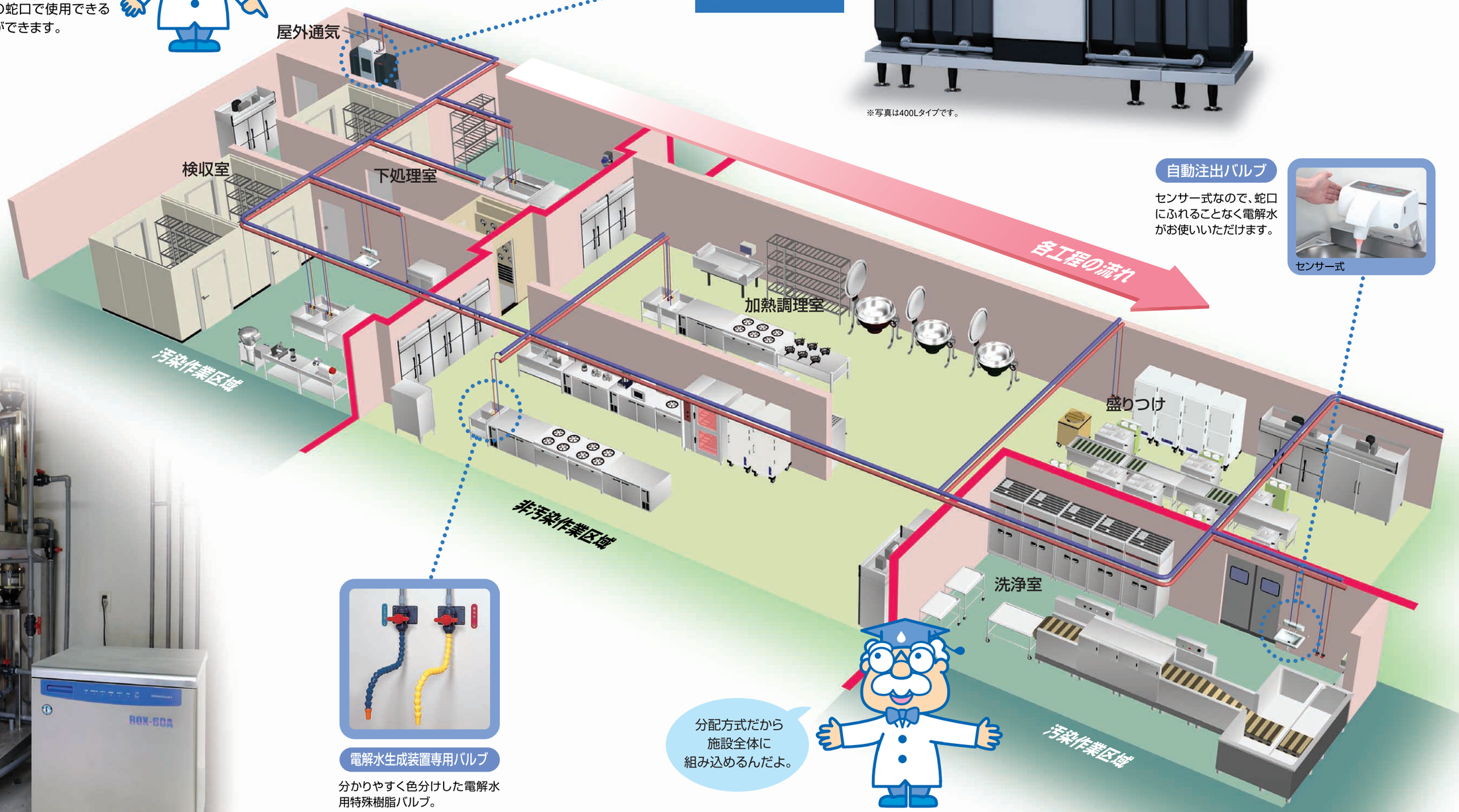
貯水・分配方式

大量供給で大量調理施設に対応

生成した電解水をタンクに貯水しておくことで大量使用が可能に。複数の蛇口で使用できるよう、システムを組むことができます。

強アルカリ性電解水

強酸性電解水



システム
電解水生成装置
ROX-30SA/ROX-60SA

大容量タンク（各200Lまたは400L）付きのため、厨房全体に配管が可能。大量使用を可能にしています。

※写真は400Lタイプです。

自動注出バルブ

センサー式なので、蛇口にふれることなく電解水がお使いいただけます。

センサー式

電解水生成装置専用バルブ

分かりやすく色分けした電解水用特殊樹脂バルブ。

仕様早見表

形　名	ROX-10WB3 ROX-10WB3+TDT-15WB3	ROX-20TB2	ROX-60A	ROX-30SA	ROX-60SA	WOX-40WA WOX-40WA-R
外　観						
日産生成能力	強アルカリ性電解水 約1.5～2.1t 強酸性電解水 約1.5～2.1t	強アルカリ性電解水 約2.2～4.3t 強酸性電解水 約2.2～4.3t	強アルカリ性電解水 約4.3～8.6t 強酸性電解水 約4.3～8.6t	強アルカリ性電解水 約4.0t 強酸性電解水 約4.0t	強アルカリ性電解水 約8.0t 強酸性電解水 約8.0t	強酸性電解水 約1.9～4.9t
強アルカリ性電解水の注出	●	●	●	●	●	— （排水）
強酸性電解水の注出	●	●	●	●	●	●
壁掛けタイプ	●	—	—	—	—	● WOX-40WA
アンダーカウンタータイプ	—	●	—	—	—	● WOX-40WA-R
床置タイプ	—	—	●	●	●	—
卓上タイプ	—	●	—	—	—	● WOX-40WA-R
センサー注出対応	●	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	●
流量調整対応	●	●	●	—	—	●
ダイレクト注出	●	●	●	—	—	●
貯水タンク対応	● ※2	● 受注生産 （ROX-20TB2-T）	● 受注生産 （ROX-60A-T）	内蔵	内蔵	—
軟水機内蔵	—	—	●	●	●	不要
酸性水中和槽内蔵	不要	不要 ※3	不要 ※4	●	●	不要

※1：バルブAYは対応不可　※2：TDT-15WB3使用　※3：貯水タンク仕様（ROX-20TB2-T）の場合は必要　※4：貯水タンク仕様（ROX-60A-T）の場合は必要

設置例

ROX-10WB3

●ROX-10WB3　●リモートコントローラー
●タンク（TDT-15WB3）　●軟水機（SSH-03C）

ROX-20TB2-T 受注生産

●ROX-20TB2-T　●注出バルブ（バルブAY）
●タンク（KC-60-H×2）　●軟水機（SSH-03C）

ROX-60A

●ROX-60A　●タンク（SLT-100-H×2）
●先止め式送水ポンプ（PFC-H-70T×2）
●酸性水中和層（HON-80B）　●注出バルブ（バルブAY）

ROX-30SA

●ROX-30SA　●注出バルブ（バルブAY）

シンクの上の壁面などに設置可能な省スペースタイプ。

電解水生成装置

ダイレクト注出方式

ROX-10WB3

壁掛けタイプ

日産生成能力

- 強アルカリ性電解水 約1.5~2.1t
- 強酸性電解水 約1.5~2.1t

登録番号 SEWA09001号

強アルカリ性 / 強酸性 / 壁掛け / センサー注出 / 流量調整 / ダイレクト注出 / 貯水タンク

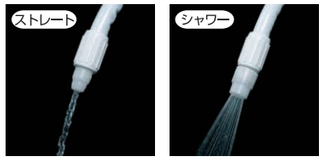
TDT-15WB3使用

センサーに手をかざすだけ、ノータッチで衛生的に注出

機械本体に非接触センサーを内蔵。手を近付けるだけでセンサーが感知し、自動的に電解水を注出します。手で触れずに注出できるためとても衛生的です。

作業性の高いフレキノズルを採用

角度が自在に動かせるフレキタイプの注出ノズルを採用しています。注出口はシャワーに取り替えることも可能です。

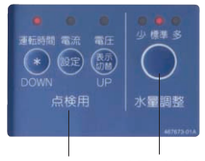


連続注出とタイマーで定時間注出も可能

必要なとき必要な分だけ注出する通常の連続注出と、タイマーをセットすれば、一定時間注出し時間がくると自動的に注出を停止する定時間注出が可能。シンク内に電解水を貯めるときなどに便利です。

見やすく、使いやすい表示パネルと操作パネル

操作パネル



点検用ボタン　水量調整ボタン

表示パネル

電解槽運転時間表示
注出ボタン
酸性水/アルカリ水注出表示

スイッチひとつで手軽に流量調節

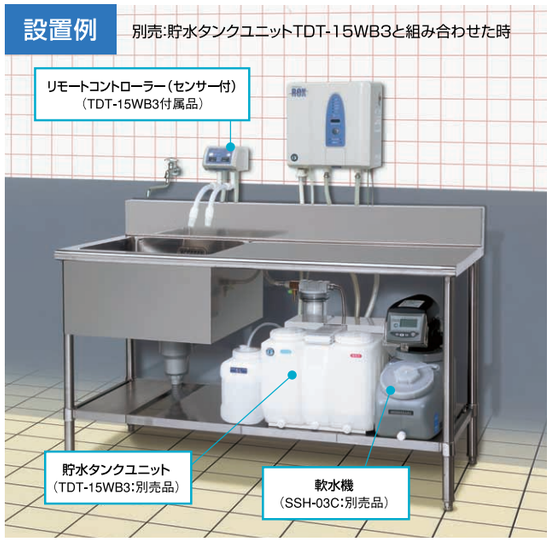
操作パネルの水量調節切り替えスイッチを押すだけで流量の調節がおこなえます。流量は「少」「標準」「多」から選択できます。

※設置状況の給水圧により、生成能力が増加しない場合もあります。

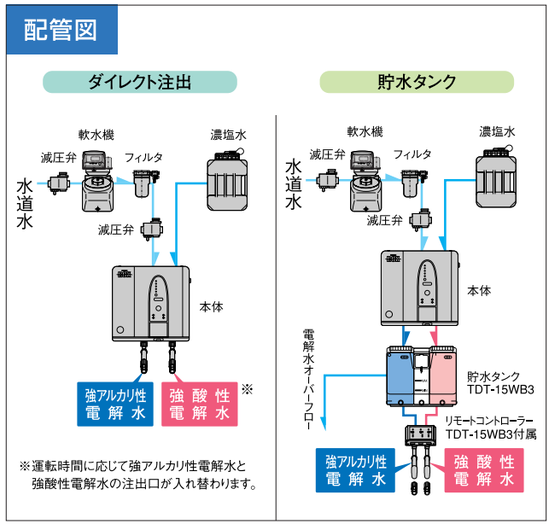
強アルカリ性電解水	水量調整の目安
約0.7～1.5L/分	小 標準 多
強酸性電解水	食品用 器具用
約0.7～1.5L/分	

設置例

別売:貯水タンクユニットTDT-15WB3と組み合わせた時



配管図



ROX-10WB3

電源		単相100V 50/60Hz 0.6kVA（6.0A）
消費電力		175/175W
標準性能	電解水生成流量	強酸性電解水・強アルカリ性電解水：約0.7～1.5L/min （ただし、1.0～1.5L/minにするには給水圧が0.15MPa以上必要になります）
標準性能	有効塩素濃度	強酸性電解水側10～60mg/kg
標準性能	電解水pH	強酸性電解水：約3.3以下、強アルカリ性電解水：約10.5以上 （注）原水水質・水温により異なります
外形寸法		幅350×奥行174×高さ340mm
接続口		給水口G3/4（減圧弁G1/2）、注出口G1/2
製品質量		約11kg（梱包時14kg）
給水		上水水道基準適合、軟水機、フィルタ取付要
使用温度範囲		周囲温度：5～35℃　水温：5～30℃　相対湿度：85%以下（但し、結露しないこと）
設置場所		屋内仕様、換気装置必要
電圧変動		定格電圧の±10%
食塩		（財）塩事業センター製の食塩（塩化ナトリウム）純度99%以上
付属品		濃塩水タンク（5L）、キャップ、ホース/キュウトウ、ノズルホース（2ヶ）、ペーパーテスタ（TB、AZY）、クロールテスタ、ビーカ、パッキン、減圧弁（0.15MPa）、オペレーションシート、ネジカラー、オールプラグ、木ネジ、ゴムスポイト、シャワーノズル、ストレートノズル、Oリング、エルボAY

〈注意事項〉
1.食品添加物指定（pH2.7以下、有効塩素濃度20～60ppm）を満たす生成流量は、約1.0L/min以下となります。
2.アースは、必ずとること。
3.塵埃がなく換気良好なこと。
4.装置外配管には断熱を巻き結露なきこと。
5.装置外配管の配管抵抗は均等にすること。
6.定格特性値は、周囲温度30℃、水温25℃、豊明市水における電気用品技術基準に基づく測定値です。
7.能力を3～5L/minに変更したい場合は、別売りのホシザキ貯水タンクユニットTDT-15WB3があります。
8.設置条件について／場所、給排水、電源等は取扱説明書・据付工事説明書に従って正しくおこなってください。また、本体設置スペースは、設置条件により若干異なることがありますので、10mm程度余裕をとってください。（吸排気スペース・配管スペース等は本体設置スペースとは別に確保が必要です。）

TDT-15WB3 ROX-10WB3用貯水タンクユニット（別売品）

電源	単相100V 50/60Hz 0.50kVA（0.5A）
消費電力	27/27W
注出量	強酸性電解水 約3.5L/min（揚程1mの時50/60Hz）強アルカリ性電解水 約3.5L/min（揚程1mの時50/60Hz）
貯水量	強酸性電解水 約12L（有効貯水量約10.6L）強アルカリ性電解水 約12L（有効貯水量約10.6L）
外形寸法	幅400×奥行420×345mm
酸性水中和	中和剤（最大投入量約2kg）による酸性水オーバーフローの中和
塩素ガス処理	塩素ガス吸着剤による塩素ガス処理
製品質量	約19kg（梱包質量 約23kg）
使用条件	周囲温度5～35℃ 定格電圧の±10%以内

〈注意事項〉
1.アースは、必ずとること。
2.電解水生成装置、ROX-10WB3と接続してのみご使用になれます。サイフォン現象により逆流の恐れがありますので、ROX-10WB3より下に設置すること。
3.中和剤は消耗品です。定期的な補充が必要です。補充についてはホシザキ純正品を使用し、中和槽タンクMINライン以上を維持してください。
4.塩素ガス吸着剤は1年または運転時間360時間毎の交換が必要です。
5.設置条件について／場所、給排水、電源等は取扱説明書・据付工事説明書に従って正しくおこなってください。また、本体設置スペースは、設置条件により若干異なることがありますので、10mm程度余裕をとってください。（吸排気スペース・配管スペース等は本体設置スペースとは別に確保が必要です。）

ROX-10WB3

TDT-15WB3